



平成 29 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・テイスト
 代表者名 代表取締役社長 杉本 英雄
 (J A S D A Q ・ コード番号 2694)
 問合せ先 取締役管理本部長 稲角 好宣
 (TEL. 052 - 910 - 1729)

特別損失の計上及び連結業績予想の差異に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期第 4 四半期において、下記の通り特別損失を計上することとなりました。これに伴い、平成 29 年 2 月 14 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期通期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、平成 29 年 3 月期第 4 四半期におきまして、当社が保有する固定資産の回収可能性を検討した結果、店舗及び校舎について減損損失を追加計上することとなりました。

当該事象により、平成 29 年 3 月期の連結業績に与える影響額は、減損損失 271,458 千円の他、固定資産売却損 1,546 千円、固定資産除却損 10,342 千円、店舗閉鎖損失 43,085 千円、店舗閉鎖損失引当金繰入額 34,819 千円となり、特別損失として 361,252 千円となります。

2. 当期の連結業績予想数値と実績との差異(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	26,700	740	780	180	0.94
実 績 値 (B)	26,739	631	623	△127	△0.67
増 減 額 (B - A)	39	△109	△157	△307	—
増 減 率 (%)	0.2	△14.7	△20.1	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	27,598	894	915	550	2.88

3. 差異の理由

売上高につきましては、居酒屋業態において、引き続き既存店昨対で苦戦を強いられたものの、ファーストフード業態や焼肉業態が堅調に推移し、回転寿司業態も第 3 四半期までは不調でしたが、第 4 四半期に入り復調の兆しが見え始め、更に既存 FC からの店舗取得が寄与した結果、前回発表予想を若干上回ることとなりました。

営業利益及び経常利益につきましては、新規業態の取得コストが嵩んだほか、上記居酒屋業態の売上の影響、また、全体として引き続き、労働市場の逼迫による人件費の高騰等により、前回発表予想を下回りましたが、営業利益 631 百万円、経常利益 623 百万円の実績となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、当第4四半期の減損損失追加計上により、予想を下回ることとなりました。

なお、当連結会計年度より、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、税務上の繰越欠損金の控除に伴う繰延税金資産の取り崩し等による法人税等調整額の計上を行っております。

以上